

いのちとくらしをまもる  
防災減災



**みんなで始める防災・減災**

～国民一人一人ができること～

## 本冊子の活用方法

本冊子では、特に皆さん一人ひとりに協力・行動頂きたいポイントにマークがついています。



皆さん一人ひとりにご一読頂き、協力・行動が必要なポイントです。



**MEMO**

メモ欄をご用意しています。適宜ご活用ください。

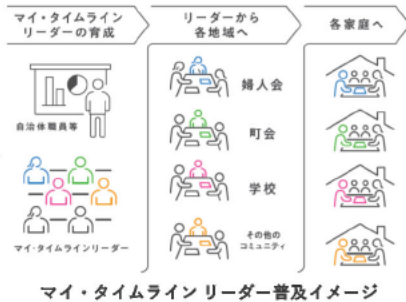
内容の例)

### マイ・タイムラインリーダーの普及



マイ・タイムラインは、地域で一体となって取り組むことが大切です。

- 住民のみなさまの中から検討のサポート役となる地域リーダー（マイ・タイムラインリーダー等）を育み、地域の防災力を高めましょう。



**MEMO**

-----

-----

# 防災・減災が主流となる社会の実現に向けて

～総力戦で挑む防災・減災プロジェクトの推進～

いのちとくらしをまもる  
防 災 減 災

近年、気候変動の影響によって自然災害が頻発化・激甚化しています。

私は、昨年9月の国土交通大臣就任直後から、令和元年房総半島台風や令和元年東日本台風の被災地へ足を運び、想像を絶する甚大な被害を目の当たりにしてきました。

今年も、令和2年7月豪雨の被災地で、豪雨の凄まじさを痛感するとともに、新型コロナ禍で被災者の皆様が厳しい状況におられることを伺い、被災地の再生に向けた決意を新たにしました。

こうした状況の中で、国民の皆様の命と暮らしを守るためには、これまでの災害を教訓として、総合的な防災・減災対策、国土強靱化対策が必要であると感じ、「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」を進めることとしました。

この冊子には、本プロジェクトの中で、とりわけ国民の皆様とともに進める防災・減災を、「一人ひとりが今できること」として、具体的に掲載しています。

国、都道府県、市町村、そして企業や国民の皆様。

あらゆる力を結集し、日頃から「防災・減災」を意識し、行動に取り入れていくことが当たり前となる、安全・安心な社会の実現に向け、一緒に取り組みしましょう。



令和2年9月  
国土交通大臣

赤羽 一嘉



# リスクの低いエリアへ


## 災害ハザードエリアを避けるためのすまい方


- 災害ハザードエリアには、土砂災害などの命にかかわる災害の危険性が高い、「災害イエローゾーン」とその危険性が特に高い「災害レッドゾーン」があります。

### ①災害ハザードエリアにおける開発抑制


- 安全を確保するため、災害レッドゾーンでは新たな施設の開発を原則禁止とし、災害イエローゾーンでは開発を厳格化することで、災害に強いまちづくりを目指します。


### ②災害ハザードエリアからの移転促進

-  人命を守るため、災害ハザードエリアから安全な地域への移転を推進しています。

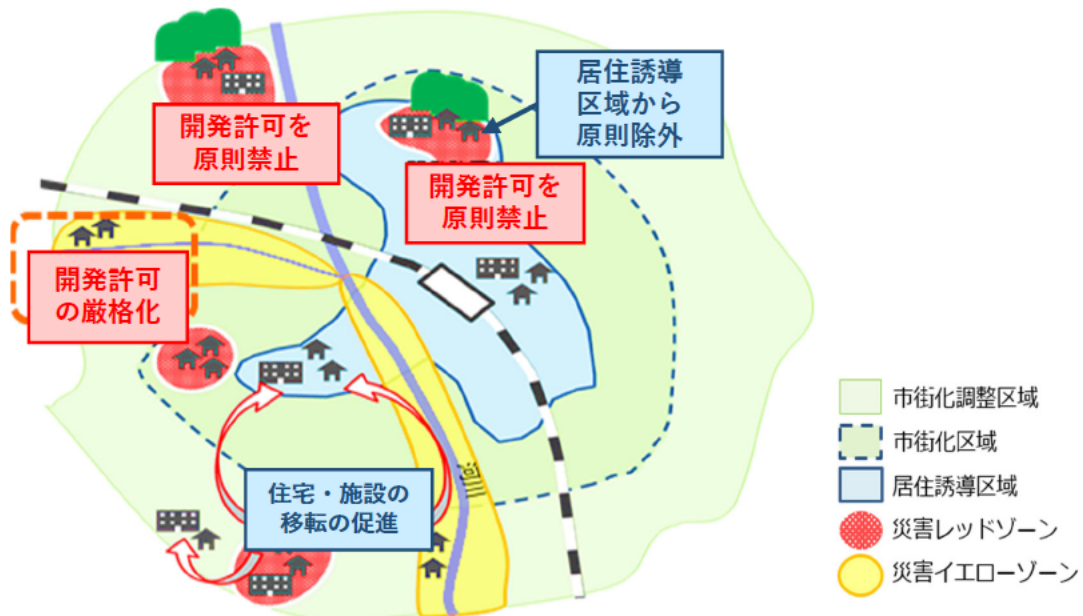
 **住む場所を家族で考えてみよう!**

### ③立地適正化計画の強化(防災を主流化)

-  居住誘導区域から災害レッドゾーンを原則除外します。

 **まちの安全な場所を確認しよう!**

- 居住誘導区域内の防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成します。



# 水災害リスクを知る



## 防災・減災のためのすまい方

### 不動産取引における水災害リスク情報の提供



住宅購入や賃貸などの契約前に重要事項説明として、ハザードマップを提示して説明することが不動産業者に義務付けられました。住み始める前から自分が住む場所の危険性や避難場所を把握し、逃げ遅れを防ぐような事前の準備が重要です。



**契約前に水災害リスクを把握しよう!**

### MEMO





## マイ・タイムラインを活用した避難の準備



**マイ・タイムラインとは、災害時に「いつ」「何をするのか」を整理した一人ひとりの防災計画**です。前もってハザードマップを用いて自らの水災害リスク等を知り、マイ・タイムラインを作成して災害発生に備えましょう。

- 国土交通省が公開しているガイドやチェックシート、様々な防災・災害情報を掲載している**防災ポータル等**を活用し、マイ・タイムラインの作成に取り組みましょう。

### 【STEP 1】

**！知る・気づく**

地域の水災害リスクを知る



ハザードマップ等による確認

### 【STEP 2】

**！考える**

タイムラインの考え方を知る



### 【STEP 3】

マイ・タイムラインを作成する

備えまでの時間	行政からの情報	台風が発生して川の水が氾濫するまで	主な備え
3日前	台風予報		
2日前	大雨注意報 洪水注意報	台風が発生	今後の台風を調べ始める 台風の進み方をチェック 家族の予定確認 等
	大雨警報 洪水警報	台風が近づいて、雨や風が だんだん強くなる	避難する時に持っていく物を準備 持ち物をリュックサックに入れる 等
1日前			
半日前	氾濫注意水位到達 氾濫注意情報 発表	雨が集まって、川の水が だんだん増える ※自分がいるところで降って なくても、上流で雨が降れば 川の水は増えてくるよ！	住んでいる所と上流の雨量を調べる ハザードマップで避難場所等を確認 等
		川の水がいっぱいであふれそう ※川の水があふれる前に、 安全なところに逃げよう！	川の水位を調べ始める パソコンでみる、携帯電話の充電 等
5時間前	避難判断水位到達 氾濫警戒情報 発表		避難しやすい服装に着替える 動きやすい靴で避難 等
3時間前	氾濫危険水位到達 氾濫危険情報 発表		安全な所へ移動を始める 浸水しない市の体育館や 公民館への避難 等
0時間前	氾濫が発生 氾濫発生情報 発表		避難完了
	赤：気象・水象情報 青：河川管理者	川の水が氾濫	

**！学校や家庭等で作成しよう！**



マイ・タイムライン  
かんたん検討ガイド



**水害に備えて、行動を起こす！**

# リーダーを育む

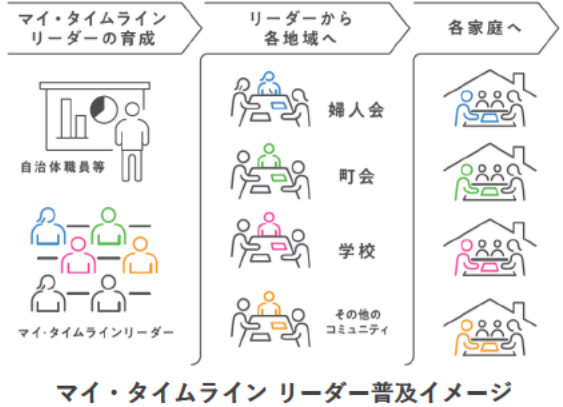
## マイ・タイムラインの活用

### マイ・タイムライン リーダーの普及



マイ・タイムラインは、地域で一体となって取り組むことが大切です。

- 住民のみなさまの中から検討のサポート役となる地域リーダー（マイ・タイムラインリーダー等）を育み、地域の防災力を高めましょう。



### MEMO



土砂災害リスク

急傾斜地の崩壊	特別警戒区域	警戒区域
土石流		

# 防災情報をつめる

浸水リスク

0.3m未満
0.3~0.5m
0.5~1.0m
1.0~3.0m
3.0~5.0m
5.0~10.0m
10.0~20.0m
20.0m以上



## 防災情報サイトを一覧できる「防災ポータル」の活用

**4エック** 防災ポータルは、ハザードマップポータルや川の防災情報等、様々な機関が発信する**防災情報**を集約し、**多言語でわかりやすく発信しているウェブサイト**です。

**4エック** **日頃から知ってほしい情報（被害想定や身の守り方等）や、災害時見てほしい情報（被害状況や避難情報）**を発信しており、平常時・災害時を問わず、様々な情報を入手することができます。

### 日頃から知ってほしい情報

- 被害想定
- 身の守り方
- 路線情報
- 私たちの取り組み

### 旅のお供！お役立ち情報

- 観光情報
- 路線情報



関係機関の  
情報提供ツールを  
**一元化**

### 災害時、見てほしい情報

- 被害状況
- 気象状況
- 逃げるための情報
- 交通・物流情報
- 被災者支援情報
- 安否情報
- ライフライン情報
- 地域の情報

### ▶ 様々な災害に対応



### ▶ 様々な言語に対応



※順次対応予定

**4エック** **防災ポータルを  
活用しよう！**



防災ポータル

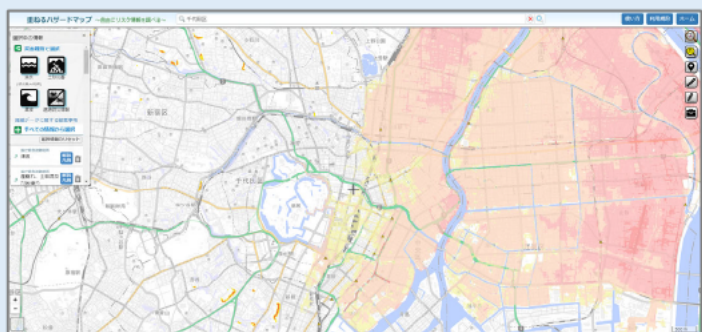
## 防災ポータルの活用例

**ここからアクセス！** 防災ポータルトップページ > 日頃から知ってほしい情報 > 被害想定

**4エック** **マイタイムラインの  
作成に活用しよう！**



### ■ハザードマップポータルサイト



全国の市町村のハザードマップや、災害リスク情報を確認し、マイタイムラインの作成に活用することができます。



日頃から備える

# 平時・災害時の情報収集

 MEMO



# 氾濫への警戒を

## メディアやSNS等を通じた注意喚起

- 大雨特別警報が警報に切り替えられた後でも、これまでに降った雨で河川が増水し、氾濫が発生する場合があります。雨がやんだからといって安心せず、今後の河川の水位上昇の見込みなどの情報を確認しましょう。

**チェック** 河川の水位情報の見込みについては、ウェブサイトやSNSで発信しているほか、記者会見を開催して、気象と河川の専門性を有する職員が連携して解説を行っています。



メディアを通じた河川氾濫への注意喚起

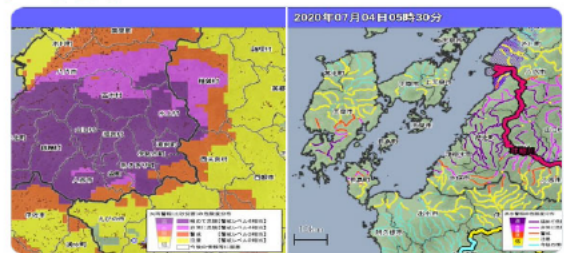


合同記者会見にて気象と河川の状況と今後の見込みを解説

**チェック** 災害時には様々なところからあらゆる情報を集めよう!



【最大級の警戒を！】04:50に熊本県、鹿児島県に大雨特別警報を発表しました。今後、他の市町村にも発表の可能性がありますが、#特別警報を待つことなく、厳重な警戒をお願いします！対象市町村はこちらで確認。  
[jma.go.jp/jp/warn/349.ht...](http://jma.go.jp/jp/warn/349.ht...)  
[jma.go.jp/jp/warn/352.ht...](http://jma.go.jp/jp/warn/352.ht...)



SNSによる気象情報の発信

## MEMO

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

大切な人のために

# 災害時の情報収集と避難の呼びかけ

## 民間アプリを活用した避難の呼びかけ

**4エック** 離れた場所に暮らす高齢者等の家族に危険が差し迫った場合、家族が直接電話をかけて避難行動を呼びかけることが大切です。

- 各種アプリやサービスから登録した地域の災害情報を受け取り、大切な人に電話等で避難を呼びかけましょう。

私の住む地域と、おばあちゃんの住む地域を登録しよう。

**N N K** **YAHOO! JAPAN** **au**

アプリの入手  
地域の登録





「逃げなきゃコール」の流れ

**4エック** 離れて暮らす大切な人を見守るため登録しよう！

**4エック** 大切な人に電話等で避難を呼びかけよう！

おばあちゃんの住む地域に「避難準備・高齢者等避難開始」が出てる！

防災情報の  
プッシュ通知



おばあちゃん、すぐに避難して！

わかったわ！

大切な人に電話等で避難を呼びかけ



## MEMO



# 津波に備える

## 津波に備えた警報等の発信

- 気象庁は、地震発生後、**約3分**を目標に津波を予測し、津波による災害のおそれがある場合、**津波警報等**（大津波警報・津波警報・津波注意報）として発表しています。

**チェック** 海水浴場等においては、津波警報等が聴覚障害者や遊泳中の方などに一層確実に伝わるよう、「津波フラッグ」による**情報発信**を行っています。**海岸で「津波フラッグ」を見かけたら、速やかに避難しましょう。**

**津波フラッグ**  
海水浴場等で知らせる

**【津波フラッグのデザイン】**  
津波フラッグ(赤白格子模様の旗)は、国際信号旗の「貴船の進路に危険あり」を意味するU旗と同様のデザインです。U旗は、海外では海からの緊急避難を知らせる旗として多く用いられています。ただし、U旗は、他の国際信号旗と組み合わせることで別の意味になることがあります。

■旗を建物に掲げるなど他の手法でお知らせすることがあります。

**チェック** 津波警報等が発表されたら直ちに避難しよう!



避難場所

## MEMO

---



---



---



---



---



---



---



---



# 安全・安心な避難のための備え

## 道路高架区間の一時避難場所としての活用

**津波や洪水が発生した時、緊急的に道路高架区間や盛土区間へ避難することができるよう、避難階段の設置を進めています。**



国道45号三陸沿岸道路 (宮城県石巻市) 避難階段を活用する避難訓練

**いざという時の避難**  
場所を確認しておこう!

### MEMO

---



---



---



---



---



---



---



---

# 計画運休を知る



## 鉄道の計画運休の適切な実施



**計画運休とは**、大型の台風等が予測される際に、長時間にわたる駅間停車や途中駅での運転取り止め等を防ぐため、**事前に予告し、すべての運行を取り止める取組**です。

- ・ 台風の進路予報に基づいて**計画運休に関する情報を提供**\*します。  
※ 車両避難を実施する場合には、**計画運休期間がより長期化することがあります。**
- ・ 運転再開時には多くの利用者が駅に集中し、入場規制等の混乱が発生するので、**時差出勤やテレワーク等にご協力**ください。



### 計画運休に関する情報発信の例

**鉄道事業者から計画運休の可能性を発信します**

**運転計画について随時情報が更新されます**

#### 案内の例

本日（〇月〇日）は〇時頃より順次運転取止めを予定しております。本日の運転計画は以下の通りです。次回のお知らせは〇時頃を予定しています。

**計画運休実施**

**翌日以降の運転再開見込みや再開時の運転計画について発信します**

**最新の情報を確認しよう!**

**運転再開後は時差出勤など混雑緩和に協力をお願いします**



## 空港の孤立化防止策

- 令和元年房総半島台風では成田空港が孤立化し、取り残される方が多く発生しました。国土交通省では、空港の孤立化対策を推進しています。



### 孤立化防止に関する取組例

- 災害前から関係者間で計画運休等に関する情報を共有
- 鉄道アクセスの途絶に備えたバス等の代替交通手段の確保等

最新の情報を  
チェック 確認しよう!



## MEMO











# 氾濫を防ぐ

## 一人ひとりの取組・理解・協力が重要です

- 気候変動による水災害の激甚化に立ち向かうためには、堤防やダムなどの施設はもちろんのこと、皆さんの身近な施設・設備・土地が持つ防災機能を最大限引き出すことが必要不可欠です。

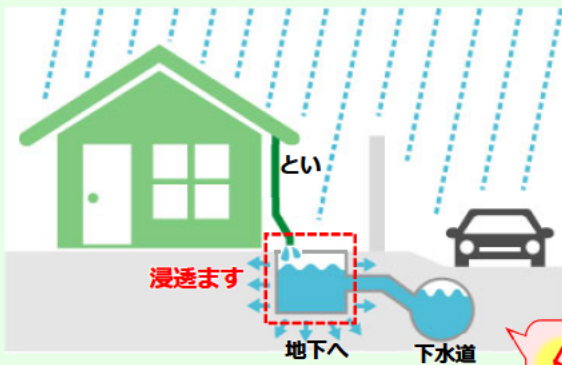
**一人ひとりの取組・理解・協力が、同じ流域の方々の人命・財産を水災害から守る**ことにつながります。**同じ流域を一つの運命共同体と考え**、私たちと一緒に水災害対策を前に進めていきましょう。

### 集水域

#### 雨水浸透ますの整備



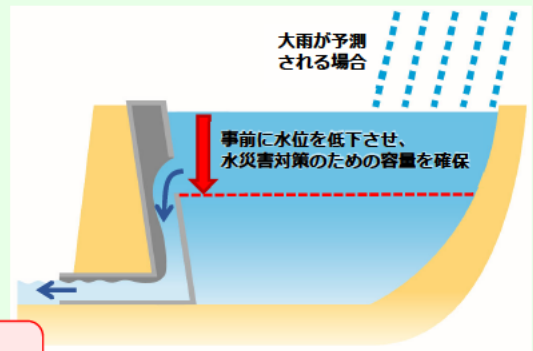
雨水を地面へしみこませ、川に流れ込む時間を遅らせる設備です。各ご家庭にも設置できます。



#### ため池等の治水利用



あらかじめ、ため池の水位を下げておくことで、川に流れ込む水の量を減らすことができます。



**治水に**  
**チェック** 利用しよう!

### MEMO

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

被害対象を減らす

力をあわせる

# 全員で取り組む水災害対策

## 流域に関わる関係者全員で水災害に備える

- 「流域治水」とは、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、さらに集水域（雨水が河川に流入するエリア）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定されるエリア）にわたる流域に関わる全員で水災害対策を行う考え方です。

**流域に関わる全員がそれぞれ流域のためにできることに取り組み、激甚化・頻発化する水災害に立ち向かいましょう。**

### ① 氾濫をできるだけ防ぐ

**集水域**  
 ためる、しみこませる  
 雨水浸透ますの整備  
 ため池等の治水利用 等

**河川区域**  
 ためる  
 治水ダムの建設・再生  
 遊水地等の整備・利水ダムの活用 等  
 安全に流す  
 河床掘削等の整備  
 氾濫水を減らす  
 堤防の強化 等

### ② 被害対象を減少させる

**氾濫域**  
 よりリスクの低いエリアへ誘導  
 移転促進等  
 被害範囲を限定する  
 二線堤防の整備等

### ③ 被害軽減・早期復旧・復興


**氾濫域**  
 土地のリスク情報の充実  
 水災害リスク情報の空白地帯解消等  
 避難体制を強化する  
 河川水位等の長期予測の技術開発  
 経済被害の最小化  
 工場や建築物の浸水対策等  
 住まい方の工夫  
 不動産取引時の水災害リスク情報提供等  
 支援体制を充実する  
 氾濫水を早く排除する



いのちとくらしをまもる  
防 災 減 災

総力戦で挑む防災・減災プロジェクト ～いのちとくらしをまもる防災減災～

令和2年9月 発行

 **国土交通省** 総合政策局政策課 / 水管理・国土保全局防災課 / 大臣官房参事官（運輸安全防災）

詳細はwebページからご覧いただけます。

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/sosei\\_point\\_tk\\_000034.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/sosei_point_tk_000034.html)

